専門ゼミナール：BC13
Special Seminar

専門ゼミナール(BC13)の履修について

(1)履修方法

国際学ゼミナールⅠ	3単位（通年・集中）：3年次対象
国際学ゼミナールⅡ	3単位（通年・集中）：4年次対象
独立論文	3単位（通年・集中）：3年次対象

上記の科目のうち、2科目（計6単位）を取得することが、卒業要件となる。

原則として、独立論文と卒業論文とを、同一年度内に、履修することはできない。

(2)留学・休学する学生への注意

①BC13系の科目は、留学中に取得した科目との読替え（単位の認定）ができない。

②協定校への交換派遣「留学」（3年次から4年次）、休学による「海外研修」（「外国の大学等（外国の大学、研究所等の教育・研究機関）」への留学のケースに限る）を行う学生は、学類長及び学群長の承認を得た後、関係学則に基づき、「国際学ゼミナールⅠ」の継続履修申請を行うことができる。

③留学し、4年間で卒業する場合は、ゼミナールを2つ履修することができないので、独立論文の単位取得が必要となる。3年次に独立論文の履修登録をし（年度初めの履修期間に不在予定の場合は留学前に（予定）指導教員の了承を得ておくこと）、3年次の1月末必着で、留学先からシステム情報エリア支援室に書留便等で郵送提出する。あるいは帰国後、独立論文の継続履修申請をして、9月末までに提出すること。

④3年次から4年次にかけて、②以外の理由で休学する学生は、「国際学ゼミナールⅠ」を継続履修することはできない。このような学生のために、実施学期をずらした「独立論文」科目がある。当該学生は3年次に指導教員の了承を得て、学務に指導教員届けを提出し、復学後の4年次、この「独立論文」の履修登録をし、学年度内に独立論文を提出する。

国際学ゼミナール I・II (I = 3 年次・II =4 年次)
International Studies I・II

国際学ゼミナール I・II は下記のリストの教員が担当する。指導教員を変更する場合は、システム情報エリア支援室にゼミ指導教員登録票を再度提出すること。
なお、秋学期にゼミ説明会が行われる（具体的な日程は、10 月に掲示にて確認すること）。

平成 29 年度（2017 年度）国際学ゼミナール I・ II 担当教員

赤根谷　達雄	Tatsuo AKANEYA	白川　直樹	Naoki SHIRAKAWA
井出　里咲子	Risako IDE	鈴木　大三	Taizo SUZUKI
岩崎　美紀子	Mikiko IWASAKI	関根　久雄	Hisao SEKINE
シモナ・ヴァシラケ	Simona Mirela VASILACHE	高橋　伸	Shin TAKAHASHI
大友　貴史	Takafumi OHTOMO	田中　洋子	Yoko TANAKA
奥島　真一郎	Shinichiro OKUSHIMA	ティムール・ダダバエフ	Timur DADABAEV
遅野井　茂雄	Shigeo OSONOI	内藤　久裕	Hisahiro NAITO
柏木　健一	Kenichi KASHIWAGI	中野　優子	Yuko NAKANO
亀山　啓輔	Keisuke KAMEYAMA	中村　逸郎	Itsuro NAKAMURA
レスリー・タック川﨑	Leslie TKACH-KAWASAKI	潘　亮	Liang PAN
木下　太志	Futoshi KINOSHITA	東野　篤子	Atsuko HIGASHINO
ネイサン・キンポ	Nathan Gilbert QUIMPO	前川　啓治	Keiji MAEGAWA
黒川　義教	Yoshinori KUROKAWA	松原　康介	Kosuke MATSUBARA
チャールズ・コヴェール	Charles Edward COVELL	毛利　亜樹	Aki MORI
蔡　東生	Dong-Sheng CAI	アブギルマ・モゲス	Abu Girma MOGES
ジート・サプコタ	Jeet Bahadur SAPKOTA	山田　亨	Toru YAMADA
柴田　政子	Masako SHIBATA	余　征飛	Zhengfei YU
ジャスティン・シャルボワ	Justin CHARLEBOIS	吉田　脩	Osamu YOSHIDA
朱　藝	Yi ZHU	渡邉　真一郎	Shinichiro WATANABE
首藤　もと子	Motoko SHUTO		

独立論文　**Independent Research**

（1） 独立論文のスタイル

① 使用言語

原則として，日本語または英語とする。ただし，他の言語を用いる場合には，指導教員による了承の上，学類長に許可願を提出し，学類長の許可を得ること。

② 長さ

日本語の場合… 5, 000 字以上（注釈を含む。ただし、図表等は除く。）

英文の場合 文のダブル・スペース（A4 用紙に約 20－23 行）で 7 ページ以上

（本文と注釈を含む。表紙，目次，図表，参考文献リストは含まない。）

上記の長さは，ミニマム要件であり，上限はない。

③ 様式

A4 版（片面印刷），横書き。穴を開けず，クリップでとめて提出。製本するために，左マージンは 3.5 センチあけること（厳守）。卒業論文の様式(A)，(B)，(C)を参考にすること。

本文にはページ番号を付し、各章節のページを目次から参照できるようにすること。

（2） 提出方法

提出日　：2018 年 1 月 26 日（金），午後 3 時まで（厳守）

提出場所：3A212

提出部数：2 部

なお，これまでの独立論文は, 3 K棟２階のラウンジに保管されており，閲覧可能です。